

令和5年 第4回 市議会定例会

市長所信表明(要旨)

蕪崎市

本日ここに、「令和5年第4回市議会定例会」の開会にあたり、提出いたしました案件のうち、主なるものにつきまして、その概要を申し上げ、併せて、私の所信の一端を申し述べ、議員各位、並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

議員各位におかれましては、先に執行されました、市議会議員選挙において、市民の厚い信頼と期待を担い、めでたくご当選されましたことを、心からお祝い申し上げます。

今後とも、市政進展のため、格別のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この度、福祉課における個人情報漏えい及び市民生活課での国民健康保険税の試算誤りが生じてしまったことにつきましては、関係者の方々並びに市民の皆様に、多大なるご迷惑とご心配をおかけし、心からお詫び申し上げます。

今後は、市民の皆様のご信頼の回復に向け、あらためて職員の個人情報保護の意識を徹底するとともに、複数人による確認作業や点検方法の見直しなど、職員一丸となり再発防止に努めてまいります。

さて、過日、行われました世界選手権男子グレコローマンスタイル60キロ級にて、文田健一郎選手が準決勝に勝利し、パリオリンピック代表に決まりました。

東京オリンピックに続いての2大会連続の出場となり、この快挙を市民一体となって祝うため、市役所庁舎に横断幕と懸垂幕を掲示したところであります。

「五輪の借りは五輪で返せ」を合言葉に金メダル獲得に向け、今後も応援してまいります。

AFCアジアチャンピオンズリーグに初参戦しているヴァンフォーレ甲府につきましては、毎試合、アジア最高峰のプレーが繰り広げられ、チームの総力や勝負強さを改めて実感したところでもあります。

残すところ、12日の最終節のみとなりましたが、1次リーグ突破を願い、エールを送ります。

また、J1復帰を目指したリーグ戦では、プレーオフ進出を争うなど、必死に戦い続けた選手たちの健闘を称え、来季の活躍を期待します。

監督及び選手をはじめ、関係各位に対しまして、これまでのご労苦に敬

意を表するとともに夢と希望を与えていただきましたことに、感謝申し上げます。

10月8日に開催した「武田の里フェスタ・韭崎」及び「ワインフェスティバル」は、無料シャトルバスの拡充をはじめとした対策により、交通渋滞もなく、市内外から1万人を超える来場者で賑わい、盛大に実施することができました。

明年度につきましても、市民の皆様楽しんでいただけるよう、関係機関との十分な協議を踏まえ、開催場所やイベント内容を検討してまいります。

14日に開催した「スポGOMI×スポCOMI inにらさき」につきましては、JR韭崎駅を中心に県内外から参加した総勢90名の方々と、制限時間内に拾ったごみの量と種類でポイントの合計を競い、総重量約56キログラムを集めることができました。

今後も、SDGsを推進し、誰もが楽しんで参加できるスポーツと環境保全、健康づくりを融合した事業に取り組んでまいります。

17日には、本県において開催されました日中韓3か国地方政府交流会議への出席に併せ、韓国有数のブドウ産地である忠清北道永同郡ちゅうせいほくどうよんどうぐんの郡守一行が本市を訪れ、相互のワイン産業の発展を目的として、取組事例の紹介やマルス穂坂ワイナリー工場を視察するなど、情報交換を行うとともに友好を深めることができました。

これを契機に、ワインを通じての交流を今後も進め、販路開拓やブランド化に繋がることを期待しております。

また、29日には、清水喜彦山梨県人会連合会長をはじめ、多くのご来賓の出席を賜るなか、首都圏韭崎会総会が4年ぶりに東京都内において、開催されました。

総会終了後には、懇親会が催され、武田の里・サッカーのまちにらさき親善大使である春風亭弁橋さんに落語を披露していただくなど、会員相互の旧交をあたためていただきました。

先月2日には、子ども家庭庁が掲げるこどもまんなか応援サポーターの取組みの一つとして、東西中学校の3年生とチャットツールを活用したオ

ンラインでの意見交換会を実施いたしました。

参加された中学生に人口減少問題についての本市の現状や課題を認識してもらおうとともに、「韮崎市が魅力あるまち・選ばれるまち」になるためにどのような取り組みが必要か意見を交わすなど、若者特有の鋭い感性でまちづくりのアイデアを聞くことができたところであり、今後の施策に活かしてまいります。

また、10日には、「NPO法人にららん」と包括的連携協定を締結いたしました。

今後は、こどもの食糧支援や学習支援などの分野において協働することにより、これまで以上にきめ細かな支援に繋がるものと考えており、すべてのこどもが、安全で安心して暮らせる地域社会の実現を目指してまいります。

続いて、同日には、韮崎市商工会及び日本政策金融公庫甲府支店と「移住と起業」、「第二創業」、「事業承継」の3分野の支援に係る連携協定を締結いたしました。

3者のノウハウとネットワークを活かし、さらなる地域経済の活性化に向けた取り組みを推進してまいります。

11日・12日の両日には、生涯学習フェスタを東京エレクトロン韮崎文化ホールで開催いたしました。

出展作品は約670点、4年振りとなる発表部門の参加者は約450人と、コロナ禍を経ても日頃の生涯学習活動が各地域に根付いていることに改めて感激いたしました。

また、長野県伊那市から孤軍高遠城伝承会の皆様をお招きし、文化協会舞踊部との交流演舞をご披露いただきました。

さらに、明年、両市の文化交流が50周年を迎えることから、JR韮崎駅前広場にご寄贈いただいたタカトオコヒガンザクラを関係者で植樹したところであります。

引き続き、様々な文化芸術活動の発表の場を提供するとともに誰もが参加できる文化交流を推し進めてまいります。

次に、本年度の主な事業の動向について申し上げます。

まず、子育て支援の充実についてであります。

公立保育園の主食提供につきましては、かねてより保護者の皆様から要望が寄せられておりましたので、明年度から実施するための経費を補正予算案に計上し、衛生面での安心に加え、麺類やパンなどバラエティーに富んだメニューの提供を行うなど、こども達への食育活動も併せて推進してまいります。

次に、健康づくりの推進についてであります。

がん患者のアピアランス支援につきましては、治療による外見の変化に対する心理的負担を軽減するため、ウィッグをはじめとする補整具の購入費用の一部を助成する経費を補正予算案に計上しております。

次に、スポーツ活動の充実についてであります。

先月3日に、葦崎中央公園陸上競技場において、葦崎市スポーツコミッション主催による「ニラリンピック2023」を開催し、県内外から約500人の方々にご参加いただきました。

今回の大会を契機に、こどもから高齢者までが気軽に運動に親しめる環境づくりと、新たなスポーツアクティビティの創出による市外からの誘客に繋げ、交流人口の拡大を推進してまいります。

また、明年2月には「冬季トレイルランニングリレー大会」を開催することとしており、過日、穂坂小学校5・6年生を対象に初開催した「スポコミトレラン教室」の結果も踏まえ、小学生の部の新設などを検討しているところであります。

今後も、競技人口の底辺拡大とこどもの体力向上に向けトレイルランニングの普及に努めるとともに、地域の活性化に繋げてまいります。

次に、文化・芸術の振興についてであります。

小林一三の生誕150周年記念事業につきましては、9月に茶人逸翁を偲ぶ茶会を開催し、一三翁の親族をはじめ市内外から多くの皆様にお越しいただきました。

また、先月には特別講演会や東宝映画の上映会のほか、「架空対談 小野金六と小林一三」を開催し、その人となりになる朗読劇をふるさと偉人研究会の皆様にご覧いただいたところであり、今後も、市民の関心を高め、郷土愛の醸成に繋げる取組みを進めてまいります。

次に、学校教育の充実についてであります。

創立150周年を迎えた菫崎小学校及び穂坂小学校につきましては、過日、両校にて式典をはじめ、タイムカプセルの開封や石碑の建立など、それぞれ記念行事が実施されたところであります。

これまでの伝統と歴史を紡いで来られた方々に感謝するとともに新しい時代を担うこどもたちに幸あらんことを願っております。

今後も「故きを温ねて新しきを知る」風土を育み、特色ある学校教育に取り組んでまいります。

また、明年から、市立中学校に自転車で通学する生徒のヘルメット購入費を助成し、保護者負担の軽減を図るとともに、交通事故や転倒時の被害軽減に繋げてまいります。

次に、穂坂地区工業用地造成事業についてであります。

これまで、第1工区の造成工事を進めておりましたが、地権者をはじめ、地元穂坂町の住民や隣接企業の皆様の格別なるご理解とご協力のもと、明年度早々の完成が見込める状況となりました。

これにより、市内の産業振興の一翼を担う工業用地として、その操業が期待できるところであります。

また、本年度末から明年度当初には、第2工区の造成工事にも着手する予定でありますので、引き続き、市民の皆様のご理解とご支援を得る中で、早期の事業完了を目指してまいります。

次に、健全な財政運営の推進についてであります。

菫崎中央公園に設置されております「EF15形電気機関車」につきましては、長い年月の経過とともに、塗装の剥離が進んできていることから、「ありし日の姿の電気機関車」を復元するため、ふるさと納税クラウドファンディングを活用して、塗装費用を先月から募集したところ、多くの皆様のご協力により、ひと月余りで早くも目標額を達成することができました。

次に、本日提出いたしました審議案件につきましては、先の9月議会以降の新たな行政需要に対応するため、条例等の改正のほか、予算につきましても補正の必要が生じたので対処いたしましたところであります。

これにより、今議会でご審議をお願いする案件は、
報告案件 1件、
予算案件 6件、

条例案件 7件、
その他案件 2件であります。

先ず、補正予算の専決事項であります。

物価高騰の影響を受けている低所得世帯の方々に、国の経済対策における臨時給付金を給付するため、2億2,475万円の増額補正の必要が生じたので、一般会計補正予算第4号を専決し、対処いたしたところであります。

次に、本会議でご審議いただく一般会計補正予算案について、その概要を申し上げます。

今回の補正につきましては、歳入において、個人市民税、固定資産税を増額しており、歳出につきましては、人事院勧告に基づく給与改定による職員給与費の増額補正のほか、緊急性を生じた諸事業を中心に編成したところであります。

先ず、議会費につきましては、給与勧告により職員給与費を25万7千円増額補正しております。

次に、総務費であります。

ふるさと応援寄附金の増収を見込み、返礼品等に要する経費として、ふるさと納税事業費に1億1,600万円を追加するなど、総額2億4,466万4千円を増額補正しております。

次に、民生費であります。

こどもの医療費が増加していることから、子ども医療費助成事業費に1,355万8千円を増額するほか、サービス利用者の増加に伴い、障害者自立支援給付費等負担事業費に3,605万6千円を追加するなど、総額1億1,985万8千円を増額補正しております。

次に、衛生費であります。

がん患者の心理的負担の軽減や生活の質の向上を支援するため、補整具の購入費用を助成する経費として、がん患者アピアランスケア支援事業費に38万円、市立病院の経営強化プラン作成経費等に対する繰出金として、病院事業会計補助金に902万1千円を追加するなど、総額3

52万7千円を増額補正しております。

次に労働費であります。

対象者の増加により、若者定住就職奨励事業費を40万円増額補正しております。

次に、農林水産業費であります。

中山間地域の農地等の管理における協定集落の増加に伴い、中山間地域等直接支払事業費に283万6千円を追加計上するほか、農業用水路等の応急的な修繕の増加により、小土地改良事業費を337万3千円追加するなど、総額1,238万5千円を増額補正しております。

次に、商工費であります。

市内での起業者の増加に伴い、起業支援補助事業費を509万円追加するなど、総額742万6千円を増額補正しております。

次に、土木費であります。

市道等の応急的な修繕の増加により、道路橋梁維持事業費を1,356万4千円追加計上するほか、中央公園の静置列車の車両修繕、塗装に要する経費等として中央公園管理費に2,089万7千円を追加するなど、総額4,813万1千円を増額補正しております。

次に、消防費であります。

常備消防に係る負担金の確定に伴い、峡北広域行政事務組合負担金を845万円追加計上するなど、総額913万2千円を増額補正しております。

次に、教育費であります。

来年度の中学校入学予定の自転車通学者に対するヘルメット購入費用を助成するため、学校安全体制整備事業費を28万7千円追加するほか、職員給与費等により、総額651万8千円を増額補正しております。

次に、公債費であります。

後年度の負担軽減と今後の金利上昇を見据え、市債の繰り上げ償還を行うため、長期債元金償還金を1億9,290万3千円追加計上するな

ど、総額1億9,744万4千円を増額補正しております。

以上の結果、一般会計補正予算額は、6億4,974万2千円を増額補正となり、現計予算額は188億9,662万円となります。

次に、特別会計、企業会計の補正予算案であります。

国民健康保険特別会計につきましては、定期人事異動及び給与勧告による職員給与費を67万円増額するほか、出産育児一時金に400万1千円を追加計上するなど、総額554万5千円を増額補正しております。

介護保険特別会計につきましては、給与勧告による職員給与費を384万7千円追加する一方、施設介護サービス給付費等保険給付費を4,127万6千円減額することにより、総額3,618万5千円を減額補正しております。

病院事業会計につきましては、非常勤医師に対する報酬等の増により、収益的支出を2,658万1千円増額し、医療機器購入費及び手術室空調改修工事等の事業費確定により、資本的支出413万7千円を減額補正しております。

水道事業会計につきましては、動力費の減額等により、収益的支出を744万8千円減額し、御勅使水源深井戸水中ポンプ入替工事の追加計上等により、資本的支出を460万円増額補正しております。

下水道事業会計につきましては、給与勧告による給与費の増額等により収益的支出を138万9千円増額し、マンホールポンプ交換修繕費の追加計上等により、資本的支出451万5千円を増額補正しております。

その他の案件につきましては、いずれもその末尾に提案理由を付記してありますので、よろしくご審議のうえ、ご議決あらんことをお願い申し上げます。

結びにあたり、議員各位におかれましては、寒冷のみぎり、ますます

ご健勝にてご活躍されますことを衷心よりご祈念申し上げまして、私の所信といたします。

令和5年12月7日

蕪崎市長 内藤久夫